



第**149**期
中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



SHINYEI

豊かな社会へのパートナー 神栄グループ

神栄株式会社

証券コード：3004

ごあいさつ

株主の皆さまには格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第149期中間期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業の概況につきまして、報告申し上げます。

今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

代表取締役社長 **小野 耕司**



当中間期の業績

当中間期における世界経済は、米国では個人消費が堅調で、雇用環境も改善傾向にあり、景気回復基調が持続しましたが、中国および東南アジアにおいては経済成長の減速傾向が続きました。

一方、わが国経済は、雇用環境の改善傾向が続くなど緩やかな景気回復基調にあるものの、株価や為替の不安定な動きや個人消費の停滞の長期化、中国をはじめとした新興国の経済の減速による影響が懸念される状況にありました。

当社グループにおきましては、平成26年4月からの3年間を新たな発展のための基盤作りと位置付けた中期経営計画WAVE“10”の最終年度を迎え、平成29年5月の会社創立130周年に向けて、事業基盤を確立させて収益力を高め、財務体質を確固たるものにし、企業価値のさらなる拡大を目指すべく取り組んでおります。

当期間における当社グループの売上高は、物

資関連における建設機械の大型案件の取扱いに加え、繊維関連におけるアパレル卸売分野および電子関連におけるセンサ関連機器分野も伸長したことにより、全体では前年同期比12.0%増の23,568百万円となりました。

一方、利益面におきましては、増収に伴い売上総利益も増加し、物流費などの販売費の増加を吸収したことで、営業利益は399百万円(前年同期比206.8%増)、経常利益は240百万円(前年同期比123.8%増)とそれぞれ大幅な増益となりました。

また、アパレル小売分野における減損損失やフィルムコンデンサの取引に関する米国における集団訴訟に対応するための弁護士報酬等を特別損失に計上した一方で、固定資産売却益などを特別利益に計上し、親会社株主に帰属する当中間期の純利益は138百万円(前年同期比602.5%増)となりました。

当期の業績見通しについて

今後の世界経済は、中国の景気減速が継続するとみられる一方、米国は雇用環境や個人消費の底堅さを背景に景気回復基調が持続するものと思われます。また、英国のEU離脱問題により先行きの不透明感が高まる中、その影響が懸念される状況にあります。

わが国経済は、中国経済の減速や円高の影響を受け、輸出が伸び悩むことが予想されるものの、経済対策効果や雇用情勢の改善から、景気は緩やかな回復傾向が継続するものと思われます。

このような状況下、当社グループにおきましては、営業力や開発・提案機能の強化による事業拡大に加え、新たなビジネスモデルの構築を進めるとともに、価格戦略の見直しや新製品・新商品の開発

による高付加価値分野への拡大を進めております。また、将来の人的基盤の確立のために、人材の育成にも取り組んでおります。

下期におきましてもこれらの取り組みを積極的に推進することにより、事業基盤を確立させて収益力を高め、財務基盤を確固たるものにし、株主の皆さまのご期待に沿えるよう邁進いたします。

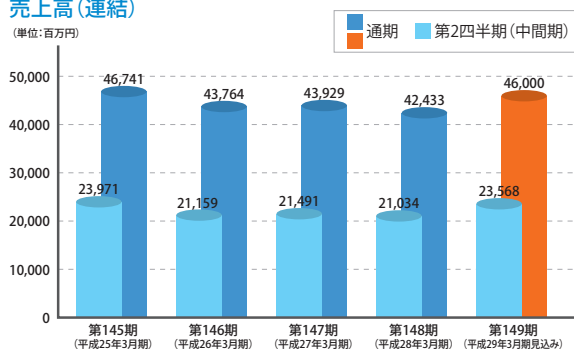
当期の通期連結業績といたしましては、売上高46,000百万円、営業利益650百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250百万円を見込んでおります。

今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

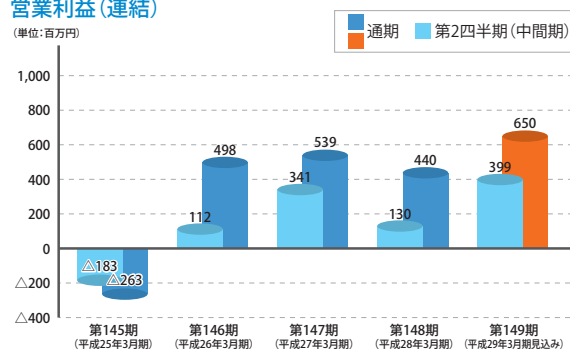
売上高(連結)

(単位:百万円)



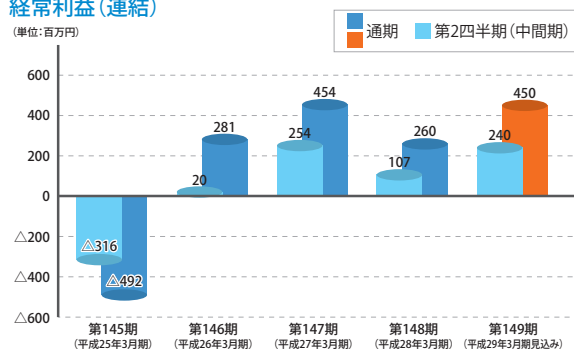
営業利益(連結)

(単位:百万円)



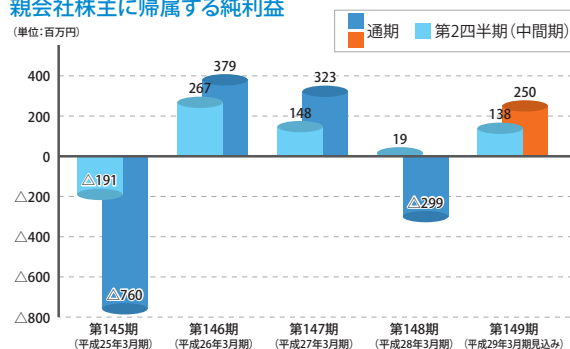
経常利益(連結)

(単位:百万円)



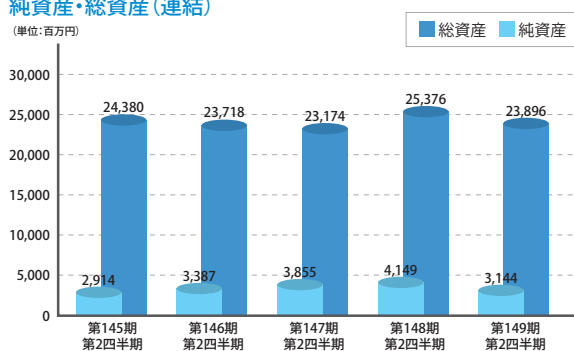
親会社株主に帰属する純利益

(単位:百万円)



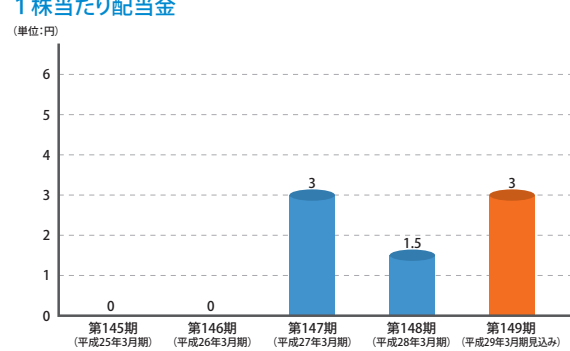
純資産・総資産(連結)

(単位:百万円)

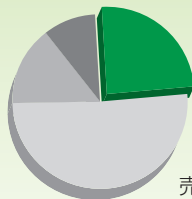


1株当たり配当金

(単位:円)



織 維 関 連



売上高

- 売上高 5,812百万円
- セグメント利益 △23百万円



PATTERN
fiore

繊維業界では、衣料品に対する購買意欲が低調に推移した上、インバウンド消費も一時の勢いが見られなくなる中、中国における原料費・人件費の高止まりや短納期化・小ロット化による製造コスト上昇も

あり、厳しい環境が続きました。

当社グループのアパレル卸売分野では、企画提案機能の強化や新商材の開発提案、新規顧客開拓によって取扱いが大きく伸長し、中国主力工場との取り組み強化や経費削減を継続した結果、採算面でも大きく改善しました。

アパレル小売分野においては、不振ブランドの縮小や不採算店舗の退店に加え、夏から秋口にかけての悪天候も影響し取扱いが減少したものの、商品企画および店舗運

営の見直しや経費削減を進め、採算面ではやや改善しました。

ニット生地分野では、資材・スポーツ用途の荷動きが低調でしたが、紳士スーツ用途などオリジナル生地開発による新規商材の増加によって、全体的に取扱いは伸長し、採算面でも改善しました。

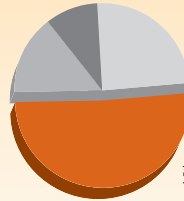
また、レッグウエア分野においては、高機能や新デザイン製品の提案営業の強化を進めたものの、消費の伸び悩みもあり業界内の競争が厳しく、取扱いは減少し採算面も悪化しました。

その結果、繊維関連の売上高は5,812百万円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益は23百万円の損失(前年同期は7百万円の利益)となりました。



(株)グランディ 新商品
(Eco Fabricシリーズ)

食 品 関 連



売上高

- 売上高 12,037百万円
- セグメント利益 853百万円



食品部 取扱商品(調理例)

食品業界の輸入食材を取り巻く環境は、中国をはじめとする仕入国での工場経費や原料費の上昇が続き、また国内では円高基調を受けて価格競争が激化いたしました。

当社グループの冷凍食品分野では、冷凍野菜については、特に医療老健施設など高齢者向け市場において、生産・品質管理面が高い評価を受け、また欧州産や東南アジア産など、中国産以外の増加もあって全体的に取扱いが伸長し、採算面でも大きく改善しました。また冷凍調理品についても、量販店の惣菜向けを中心に取扱いが増加し、採算面も改善しました。

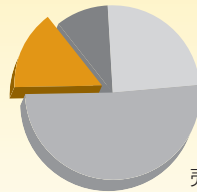
冷凍水産加工品については、同業他社との競争が激しく取扱いは横ばいでしたが、原料コストの低下が進んだことで採算面では改善しました。

農産分野では、落花生の取扱いが伸長したものの、アーモンドなどのナッツ類の取扱いが減少し、採算面でも悪化しました。

その結果、食品関連の売上高は12,037百万円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益は853百万円(前年同期比39.8%増)となりました。

農産部 取扱商品
(カシューナッツ)

物 資 関 連



- 売上高 3,482百万円
- セグメント利益 103百万円

売上高



物資本部 事業開発グループ 取扱商品
(ベアリング)

建設業界は、インフラ整備を中心とした需要が緩やかな増加を見せ始めているものの、マンション建築関連の動向は一進一退の状況にありました。

当社グループの建築金物・資材分野は、建築関連市場が弱含みの中、取扱いが微増となりましたが、生活用品分野につきましては、取扱いが減少しました。

機械機器・金属製品分野では、建設機械が南アジア向け大型案件の取扱いにより大きく伸長し、採算面でも大幅に改善しました。

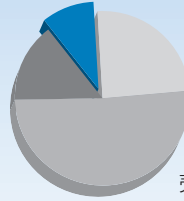
また、北米向けのベアリングなどのハードウェア輸出も堅調でしたが、各種試験機の輸出は減少しました。

その結果、物資関連の売上高は3,482百万円(前年同期比99.6%増)、セグメント利益は103百万円(前年同期比39.3%増)となりました。



(株)新協和 取扱商品(ドアハンドル)

電子関連



- 売上高 2,235百万円
- セグメント利益 121百万円

売上高



波長可変ダイオードレーザー吸収分光式
(TDLAS) 露点水分計

電子部品業界は、欧米向けを中心に自動車用途は堅調でしたが、海外スマートフォンメーカー向けが生産調整の影響を受け、さらに中国経済の減速などもあり、全体としては低調に推移しました。

当社グループのコンデンサ分野では、産業機械用途が増加したものの新エネルギー用途の需要の減少が続いた上、調理家電用途も減少したことから、全体的に売上が大きく減少し、採算面でも悪化しました。

センサ関連機器分野においては、ホコリセンサは中国向け空気清浄機用途の需要が

順調に推移したことで、売上が大きく増加し採算面でも大幅に改善しました。一方、湿度センサは、ビル空調向けの需要が伸び悩んだことから売上が減少しました。

落下・衝撃試験機分野では、海外の高機能携帯端末メーカー向けの落下試験機の受注は減少したものの、自動車関連メーカー向けの衝撃試験機の出荷が増え、売上は全体としては僅かながら増加しました。しかしながら経費の負担増により採算面はやや悪化しました。

その結果、電子関連の売上高は2,235百万円(前年同期比18.3%増)、セグメント利益は121百万円(前年同期比24.8%増)となりました。



高機能ハイエンド衝撃試験装置

第2四半期連結財務諸表

》第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前決算期	当第2四半期	科 目	前決算期	当第2四半期
	平成28年3月31日 現 在	平成28年9月30日 現 在		平成28年3月31日 現 在	平成28年9月30日 現 在
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	15,086	15,928	流 動 負 債	13,910	14,191
固 定 資 産	8,343	7,944	固 定 負 債	6,375	6,560
有形固定資産	4,649	4,367	負 債 合 計	20,285	20,752
無形固定資産	127	104	(純 資 産 の 部)		
投資その他の資産	3,566	3,471	株 主 資 本	2,943	3,024
繰 延 資 産	26	23	資 本 金	1,980	1,980
			資 本 剰 余 金	1,049	1,049
			利 益 剰 余 金	314	395
			自 己 株 式	△399	△399
			その他の包括利益累計額	223	116
			その他有価証券評価差額金	528	491
			繰延ヘッジ損益	△150	△122
			為替換算調整勘定	△154	△252
			非支配株主持分	3	2
			純資産合計	3,171	3,144
資 産 合 計	23,456	23,896	負債純資産合計	23,456	23,896

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

》第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
売上高	21,034	23,568
売上原価	16,784	18,837
売上総利益	4,249	4,730
販売費及び一般管理費	4,119	4,331
営業利益	130	399
営業外収益	140	69
営業外費用	163	228
経常利益	107	240
特別利益	154	206
特別損失	205	225
税金等調整前四半期純利益	56	220
法人税、住民税及び事業税	31	126
法人税等調整額	5	△44
法人税等合計	37	82
四半期純利益	19	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	138

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

》第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△917	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204	219
財務活動によるキャッシュ・フロー	973	△204
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△156	△79
現金及び現金同等物の期首残高	1,443	1,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,286	1,135

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期個別財務諸表

》第2四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前決算期	当第2四半期	科 目	前決算期	当第2四半期
	平成28年3月31日 現 在	平成28年9月30日 現 在		平成28年3月31日 現 在	平成28年9月30日 現 在
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	12,854	13,797	流 動 負 債	14,127	14,406
固 定 資 産	10,354	10,163	固 定 負 債	5,815	6,136
有形固定資産	3,046	2,948	負 債 合 計	19,942	20,543
無形固定資産	91	69	(純 資 産 の 部)		
投資その他の資産	7,217	7,144	株 主 資 本	2,846	2,995
繰 延 資 産	26	23	資 本 金	1,980	1,980
			資 本 剰 余 金	1,049	1,049
			利 益 剰 余 金	217	366
			自 己 株 式	△399	△399
			評 価 ・ 換 算 差 額 等	446	445
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	525	490
			繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△79	△45
			純 資 産 合 計	3,293	3,440
資 産 合 計	23,236	23,984	負 債 純 資 産 合 計	23,236	23,984

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

》第2四半期個別損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
売 上 高	13,716	15,824
売 上 原 価	11,631	13,261
売 上 総 利 益	2,084	2,563
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,023	2,321
営 業 利 益	61	241
営 業 外 収 益	367	263
営 業 外 費 用	197	272
経 常 利 益	231	232
特 別 利 益	93	158
特 別 損 失	267	159
税 引 前 四 半 期 純 利 益	56	231
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4	60
法 人 税 等 調 整 額	13	△34
法 人 税 等 合 計	18	26
四 半 期 純 利 益	38	205

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 四半期個別財務諸表は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものであり
 法定開示におけるレビューの対象ではありません。

タイ・香港市場への食品輸出の取り組み

神栄グループ

日本の食品の海外輸出に向けた取り組みの一環として、タイと香港で行われた食品展示会に出展いたしました。

タイにおいて冷凍食品の販売活動を行っている現地法人Shinyei (Thailand) Co., Ltd.は、本年5月25日から27日の3日間、バンコクで開かれた「THAIFEX (タイフェックス) 2016」に出展いたしました。

「THAIFEX 2016」は、東南アジアを中心に40の国と地域から1,919社が出展し、業界来場者のみで40,000人を超える東南アジア最大級の食品展です。同社のブースにおきましては、日本産の冷凍和菓子や生食可能な冷凍牡蠣などを展示し、現地の食品メーカーやレストラン関係者、そしてタイに進出している日系の食品関連



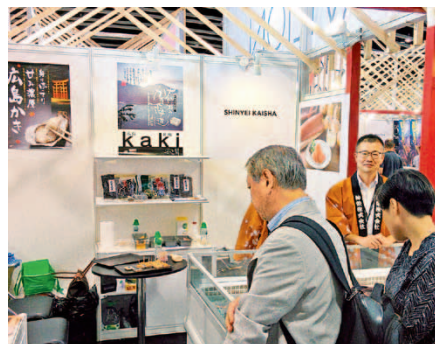
THAIFEX 2016 展示ブース

企業の方々に紹介し試食していただきました。その場で多くの引き合いをいただき、タイ市場での将来性を感じることができました。

香港では、香港支店が中心となり8月11日から13日の3日間、香港コンベンションセンターで開催された「Food Expo 2016」に出展いたしました。

香港の「Food Expo 2016」もアジア最大級の食品展で、タイでの展示会同様、日本産の冷凍和菓子や冷凍牡蠣などを出展し、多くの来場者の関心を集め、引き合いをいただきました。香港支店では、従来、電子部品を主要商材として取り扱ってきましたが、これに加え、食品という新たな分野への広がりの可能性を見出すことができました。

これらの展示会への出展を機に、香港やタイをはじめとする東南アジアの食品市場における顧客開拓と事業基盤の早期確立を目指して、さらに力を入れて取り組んでまいります。



Food Expo 2016 展示ブース

トピックス
2

海のエコラベル 『MSC』の認証取得

神栄(株)食品部

当社は、本年8月、食品部が取扱う水産品の一部について"海のエコラベル"「MSC (Marine Stewardship Council: 海洋管理協議会)」の認証を取得いたしました。

"海のエコラベル"とは、海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物(シーフード)の証であり、水産原料の確保だけでなく加工から流通にいたるまでの全ての工程が審査対象となっています。近時、乱獲による海洋環境の悪化や水産資源の枯渇が問題となっていますが、このラベルを貼付した商品を製造・流通させることで、環境保全への意識が高い消費者に対し、環境に優しい商品であることをアピールしてまいります。国内の水産業界や量販店でもこの認証を取得した商品の取扱いが広がっており、販路の拡大が期待できます。

今後とも、他社と差別化した商品展開を図ってまいります。



商品に貼付するラベル

トピックス
3

Webストアのリニューアル

神栄ライフテックス(株)

神栄ライフテックス(株)では、オリジナルブランド「PATTERN fiona」と「Cherite by PRIME PATTERN」のWebストアを全面リニューアルいたしました。

グラフィカルなアイコンやバナーを使ったデザインに刷新し、新商品やキャンペーン情報をタイムリーに発信できるようになりました。さらに人気ランキングを商品カテゴリー別に表示したり、スタッフが日替わりで投稿するブログから商品詳細ページへ直接リンクさせたりするなど、これまで以上に

PATTERN fiona
Webストア

お客様がお求めの商品を発見しやすくなりました。さらに、ファッションに敏感な世代に人気のコーディネートアプリWEARと連動したZOZOTOWNや、MAGASEEKなどのファッションサイトでも両ブランドを展開し、幅広い客層に商品をアピールしております。

丁寧な接客でお客様の悩みを解決する店頭と、豊富なラインナップを提供するWebストアのそれぞれの強みを発揮して相乗効果を生みだし、より一層のブランド認知度の向上と売上の拡大につなげてまいります。

メキシコにおける 受託試験事業の開始

物資本部

北米現地法人Shinyei Corp. of America は、メキシコ合衆国において腐食試験・耐候性試験の受託試験事業を年内に開始いたします。

日系自動車関連メーカーの進出が相次ぐメキシコでは、製品・部品の研究開発段階において、それらが環境の変化にも耐えうるものかどうかの試験を現地で行うニーズが高まってきています。このような試験需要に応えるため、日本製の試験機を用いた受託試験サービスをメキシコで初めて実施することといたしました。

受託試験に用いる試験機は国内メーカー向けの実績が豊富なスガ試験機(株)(東京都新宿区)製の高機能機種であり、現地のお客様からの様々なニーズに効率よく応えてまいります。

受託試験事業の開始により新たな試験需要を掘り起こし、北米・中南米市場での日本製試験機販売事業との相乗効果を狙い、さらなる事業拡大を図ってまいります。



耐候性試験機
スーパーキセノン
ウェザーメーター SX75



腐食試験機
複合サイクル試験機 CCT-1L

JAXAとの共同研究

神栄テクノロジー(株)

神栄テクノロジー(株)は、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) との共同研究に向けた取り組みを進めています。

JAXAでは、「宇宙探査イノベーションハブ」という組織を設け、民間の産業技術を宇宙開発へと活用することや、宇宙探査技術を活かした産業分野での技術革新を目指した活動を行っています。その一環として、企業・大学などから共同研究テーマを募集しており、このたび、同社がこれに応募し選考されたものです。

研究テーマは、ガス中の微量水分を計測できる頑丈かつ小型・軽量化した計測器の開発です。この技術を活かすことで、惑星探査のような過酷な環境下においてもわずかな水分を計測でき、また、小型・軽量化することで探査機にも搭載しやすくなります。

今回の研究には、JAXAのほか、国立研究開発法人である産業技術総合研究所と、大阪大学が加わります。

同社が得意とする湿度計測分野において宇宙開発の発展に寄与できることは大変意義深く、技術開発をさらに促進してまいります。



神栄グループR&Dセンター

トピックス
6

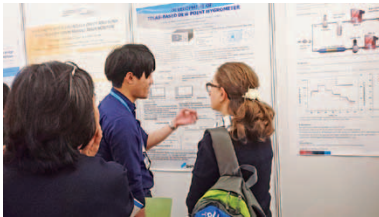
新製品『吸収分光式露点水分計』 の欧州での取り組み

神栄テクノロジー(株)

神栄テクノロジー(株)は、本年6月26日から7月1日にポーランドで開催された「TEMPMEKO 2016 (産業と科学における温度・熱測定国際シンポジウム)」に初めて参加し、波長可変ダイオードレーザー吸収分光式(TDLAS)露点水分計を紹介いたしました。これは同社の新製品であり、新たな方式で即時に気体中の水分量を測定する国産初の装置です。

このシンポジウムは、世界各国から温湿度計測に関する規格の管理などを行う国家計量標準機関の関係者が集い研究成果を発表、情報交換を行う場として、3年に1度開催されています。

開催期間中は大勢のお客様にご来場いただき、TDLAS露点水分計のデモ展示を行い、大きな反響を得ました。今後とも、グローバル市場における湿度計測製品の普及に努めてまいります。



TEMPMEKO 2016 展示ブース

トピックス
7

落下試験機の新製品の 開発

神栄テストマシナリー(株)

神栄テストマシナリー(株)は、コンパクト設計と操作の簡便性をコンセプトとした包装貨物落下試験機「DT-20e」を開発いたしました。

近年の通販ビジネス拡大により、物流時の破損を防止するため、これまで以上に貨物の包装を工夫して衝撃や振動などを緩和することが求められています。包装設計現場において事前確認のための試験が必要とされますが、費用面やスペースの問題により、試験機を設置できる現場は多くありませんでした。

包装貨物落下試験機「DT-20e」は、従来の落下試験機に比べて、小型化(設置面積は約1/8、重量は約1/4)を実現し、場所を選ばずに設置できます。同時に、操作性も向上させることで、誰でも容易に落下試験が行える設計としながら、コストダウンも実現し、これまでより手軽にお客様に購入していただくことができます。

お客様の物流問題を解決するために、本試験機の普及に努めてまいります。

包装貨物落下試験機
DT-20e

株式の状況

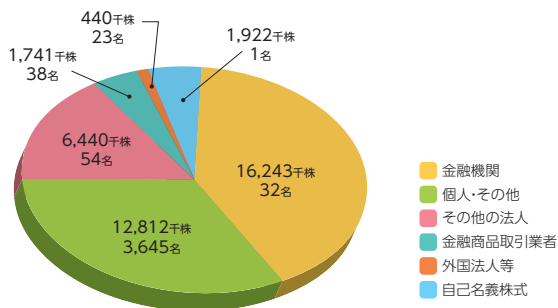
(平成28年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 120,000,000株
- 発行済株式の総数 39,600,000株
- 株主総数 3,793名
- 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況 持株数(持株比率)
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,420千株 (6.42%)
株式会社三井住友銀行	1,875 (4.98)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,875 (4.98)
株式会社みなと銀行	1,808 (4.80)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,679 (4.46)
農林中央金庫	1,650 (4.38)
株式会社ノザワ	1,223 (3.25)
日工株式会社	1,021 (2.71)
株式会社さくらケーシーエス	1,010 (2.68)
株式会社京都銀行	972 (2.58)

(注) 1. 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 1,679千株
2. 持株比率は、自己株式数(1,922,040株)を控除して算出しております。

所有者別分布状況



会社概要

(平成28年9月30日現在)

- 社名 神栄株式会社(英文: SHINYEI KAISHA)
- 本社 〒651-0178
神戸市中央区京町77番地の1
- 設立 明治20年(1887年)5月24日
- 資本金 1,980百万円
- 従業員(連結) 654名(平成28年9月30日現在)

取扱商品・製品・サービス(連結)

- 繊維関連 繊維製品、原糸
- 食品関連 冷凍食品、水産物、農産物
- 物資関連 金属製品、機械機器、建築資材、
建築金物、生活雑貨、防災関連資機材、
不動産業、保険代理店業
- 電子関連 電子機器、センサおよび環境機器、
電子部品、測定機器、試験機

事業所

- 支店 東京支店、福岡支店、香港支店
- 研究所 神栄グループR&Dセンター
神栄グループあわら農業センター
- 営業所 沖縄営業所
- 海外事務所 北京、ソウル、ホーチミン、
イスタンブール、バクー

子会社

- 神栄テクノロジー(株)
- 神栄キャパシタ(株)
- 神栄リビングインダストリー(株)
- 神栄ライフテックス(株)
- (株)グランディ
- 神栄テストマシナリー(株)
- (株)新協和
- 神栄アグリテック(株)
- ShinYEI Corp. of America (米国)
- ShinYEI Kaisha Electronics (M) SDN. BHD. (マレーシア)
- 神栄商事(青島)貿易有限公司(中国)
- 神栄(上海)貿易有限公司(中国)
- ShinYEI (Thailand) Co., Ltd. (タイ)

役員

(平成28年9月30日現在)

代表取締役 兼社長執行役員	小野 耕 司
代表取締役 兼専務執行役員	赤澤 秀 朗
取締役 兼常務執行役員	高田 清
取締役 兼常務執行役員	奥村 聡
*取締役	萩尾 千里
*取締役	福田 正
常勤監査役	佐塚 直 隆
**監査役	大森 右 策
**監査役	藤本 修
執行役員	中川 太 郎
執行役員	棟羽 宏
執行役員	山水 教 賢
執行役員	谷口 博 一
執行役員	奥村 武 久
執行役員	長尾 謙 一

(注) *印は、社外取締役であります。

**印は、社外監査役であります。

単元未満株式の買増・買取請求について

単元未満株式を所有される方は、その単元未満株式の数と併せて1単元(1,000株)になる株式の数を、当社に対して買増の請求をすることができます。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取扱いしております。

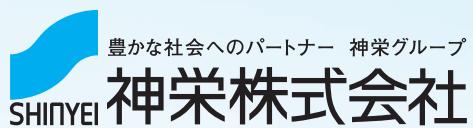
株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当(期末配当金) 3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先
(お問合せ先)
〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 公 告 方 法
電子公告
当社ウェブサイト
(<http://www.shinyei.co.jp/>)に掲載
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証 券 コ ー ド 3004

※株主様の住所・氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求・買増請求などの各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社にお問合せください。

※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。また、三菱UFJ信託銀行本支店においても、お取次ぎいたします。

※未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



自然保護のため
再生紙を使用しています。